

議 事 録

令和2年5月27日

会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会第1回理事会
日 時	期 日：令和2年5月27日（水） 時 間：14時00分～16時00分
場 所	WEB会議
議事内容	
出席者	出席理事：山本博、馬場昭治、下田昇一郎、上亜希子、高廣宗明、松本英樹、平下豊、田口京重、濱崎宗治、田中光徳、米田揚昌 11名 欠席理事：浜崎昭臣、山下修平、松本國雄、松永英也、金子信之、浜悦男、崎本弘訓、永田章一、藤本貴士、下田貴久 10名 出席監事：田崎良輔、岡部秀喜 事務局：赤木聖一、城下聡子、大塚純子、濱崎美圭、吉田綾、古川雄一、山崎寛子、上村將太、中村彩
議事録署名者	会長 山本博 監事 田崎良輔 監事 岡部秀喜
議 題	別添レジュメのとおり
1、開会	(議長 馬場) 只今から令和2年度第1回理事会を開会します。
2、会長挨拶	皆さんこんにちは。コロナ渦の中こういった形でWEB理事会を開催できまして、距離のある天草にとっては有意義なやり方、新しい取り組みでいいのではないかなと思っています。今どこも苦しい状態だと思います。コロナの影響を受けない業種はそんなないだろうと思います。4月の後半からヤヒログループも土日祝日を定休日、休業として、平日だけ営業をしておりましたが、やはり平日だけの営業ではお客様の戻りがほとんどなく、手元に資料を持ってきてるんですけども、前々年は5月だけで7,000人ヤヒログループでお客様来ています。今年は、1,000人です。うちは6月が決算で7月から始まるんですが、3年前は7月から5月25日までの間に93,000人くらい

お客様に来ていただいていたいました。今年は66,000人。全体で7割、8割減っています。5月だけでいうと15%程になります。飲食業も開けてる所、開けてない所もあります、ホテル、旅館業も閉めてる所もありますし、売上が0の状態が続いているのでお客様を呼び込まないといけないと思っていますけども、天草市と協議をするときには島外のお客様呼び込むのは今の時期は止めてほしいと、熊本県内の人に来てくださいというのも天草市側からするとあまり嬉しくないという話が出てきますので、今回天草市から受託した事業も天草島民向けの事業になってるので、それがどのくらい利用喚起にできるのかわかりませんが、できることを1つずつきちんとやっていくようにしていきたいと、コロナが収束した後に県外のお客様に来てくださいと言うときにどういう風な宣伝をしていくのかきちんと市側とも協議をしていけるように。いろいろな団体がありますけれども、それぞれがばらばらにやるのではなく、皆で集まって協議ができるような場を設けてコロナ収束後に何をしていくかというのを話し合える場を設けることができないかと市の方とも話をさせていただいて協議をしています。その時は観光協会や商工会、旅館組合だったり、飲食業組合なども交えて天草としてどんな風にアピールしていくか話し合える場を作れるようになるといいなと思いつつ、今いろいろな所と協議をしているところです。中々表に出てこないで、歯がゆいと思われる方がいると思うんですけども、水面下ですが、協力をしようと話は一致していますので、それぞれの考えを持ってますけど一旦持ち寄って話をできるような場をと思っています。理事の皆様も温めているものがあればきちんと形にできるような機会していければいいなと思っております。令和2年度の第1回の理事会ということで昨年承認してもらいました、予算、事業計画がコロナがない状態での予定でしたので、コロナを含めた修正が出てきておりますので、皆様の意見をいただければと思います。時間がないような会議ですが、今回のWEB会議も終わりをしっかり決めて内容の濃い会議にしたいと思っておりますので、それぞれの意見を頭の中で考えていただいて、簡潔にまとめて発表していただければ会議がスムーズにいくのかなと思います。協力をよろしくお願いいたします。

3(1)令和元年度事業報告並びに収支決算について

(事業部 大塚)

3ページから20ページまでが本会計及び特別会計の事業報告になります。5月31日まで開催しています天草生うに三昧が開催中ですので、そちらのみご報告させていただきます。売上は昨年比45%になっております。新型コロナウイルスに伴う広報活動へも影響がございまして3月27日理事会でもご報告しました旅サラダ生放送も中止となっております、4月以降のSNSの広告も中止、4月25日以降のテレビCMも中止としております。それに伴うにの市場価格が高いときには、31,000円だったんですが、現在9,000円となっております。天草漁協五和支所でのうにの売上なんですけど、昨年比約25%となっております。

(事務局 城下)

資料21ページをご覧ください。貸借対照表になります。流動資産合計10,374,467円、資産合計

12,674,477円、負債及び正味財産合計12,674,477円となります。22ページをご覧ください。一般会計正味財産増減計算書になります。経常収益計66,209,153円、事業費、67,227,737円、管理費1,335,090円、23ページをご覧ください。経常費用計68,562,827円、正味財産期末残高4,693,516円となります。24ページをご覧ください。特別会計貸借対照表になります。流動資産合計25,092,867円、負債合計3,716,876円、負債及び正味財産合計25,092,867円。25ページをご覧ください。特別会計正味財産増減計算書です。経常収益計66,405,651円、経常費用計57,539,701円、当期計上増減額7,865,950円。26ページをご覧ください。正味財産期末残高21,375,991円となります。

(監事 岡部)

私の方から監査報告をいたします。27ページをご覧ください。事務局立ち合いの元会計帳簿、会計書類、報告書等の監査を行いました。その結果記載の通り適正に処理されていたのでここにご報告させていただきます。

(事務局 赤木)

次の議題の予算に係ってくるんですが、先般天草市と協議しまして、資料は22ページの受取補助金等57,511,601円が、当初補助金予定額が予算上では61,315,000円だったんですが、今回約4,803,399円を市へ返金しています。当初予定していた予算額から4,803,399円減額しております。

(議長 馬場)

事務局の方より4,803,399円天草市に返還するように言われまして、返還されたでの計算書になっています。これについて事務局説明などありますか。

(事務局 赤木)

基本的には私達の会費であったり、自主財源から事業に充てていく所で、その不足分を天草市から補助金をいただいて事業を行ったりしていくんですけども、今回事業がコロナでできなかった部分の200万円と運営費の200万円合計の480万円ぐらいを繰越した分を天草市に変換すると先日の打合せでなっております。今後のやり取りについては詳細を天草市の観光振興課さんと今後、来年度以降問題も出てくると思いますので、ルール決めをしていければと思っております。

(異議なし)

(2) 令和2年度事業計画の変更ならびに補正予算について

(事務局 赤木)

資料は29ページをご覧ください。一般社団法人天草宝島観光協会基本方針なんですが、3月末時

点の理事会で宿泊目標の設定であったり、いろいろな対策を行うという形で進めていたんですが、今回コロナがございましたので基本方針を全面的に変更しております。基本方針コロナに負けない。私たちは進化するというので、新型コロナウイルスの影響により観光業は危機的な状況に陥っておりますので、この難局を観光協会としても乗り越えるためにも私たちは時代から変化をもとめられているということ、収束後の新たな時代を見据えて変化を恐れず、今できることを行っていきます。ということで基本方針の1つ目が、新型コロナウイルスの感染拡大防止に最大限努力する。2つ目がどう乗り切るかということで、会員事業者の状況を随時把握し、テイクアウトであったり、島内経済支援活動の今できることを行う。3つ目にコロナ収束後を見据えて当初予定していた、事業、中止、変更も含めて可否については柔軟に対応する。予想されるGoToキャンペーンについても情報共有する。旅行業が大きな変化が予想されますので、収束後を見据え柔軟に対応を行う。4つ目に組織運営につきましては、情報共有について、WEB、メール、ラインなどを活用し情報共有をスピーディーに行い、コストの削減を行う。3月の理事会でも出ましたが、今宿、飲食店中心に案内しているんですが、情報通信手段が郵送であったりFAXだったのでライン、メールへの切替案内をしているところです。会議開催方法などもWEB会議を積極的に導入し時間の有効活用、意思決定のスピードの向上を図る。3つ目にコロナウイルスや熊本地震など自然災害や、社会情勢が観光業に多大なる影響が瞬時に及ぶことが改めて理解できましたので、今後いつ起こるかわかりませんので、その時の対応基準のルールを今年度作るということを実案として出させていただきます。細かな事業計画につきましては、予算、内容は書いていません。文章だけ変えまして、今後事業委員会等で協議できればと思っています。

(事務局 城下)

34ページをご覧ください。一般会計収支予算案会費収入こちらを今年度もらわないということで、0円にしています。2,393,506円を繰越まして、足りない分を特別会計より7,700,000円移動するというので、収入合計72,632,000円とさせていただきます。35ページをご覧ください。事業費34,400,000円、運営費の燃料費を28,000円減額しまして38,232,000円、合計72,632,000円とさせていただきます。36ページが特別会計予算案となります、広告収入400万をもらわないこととしまして、ポルトの使用料収入534,000円を減額させていただきます。繰越金21,375,991円、合計が63,521,271円とさせていただきます。支出の部が、予備費1,141,271円、この予備費の中から本会計へ7,700,000円もっていきたいと思います。支出合計が55,821,271円となります。

(異議なし)

(3) 令和2年度通常総会について

・開催方法について

(事務局 城下)

38ページをご覧ください。通常総会の開催について、開催日時令和2年6月24日水曜日午後2時からとさせていただきます。開催場所は未定になっております。書面決議で行いたいと

思います。観光功労者表彰について、4月に各支部に推薦を送ったところ、今年度は推薦無しとなっております。

(議長 馬場)

先日の正副会長会で書面決議という意見がございまして、今回理事会に提出するという事で決まりましたので諮らせていただきたいと思います。書面でいただいて、総会を開いて来ていただく方には来ていただいて開催することになります。

(異議なし)

(議長 馬場)

観光功労者表彰については推薦者なしということで表彰しないという事になりますのでよろしいでしょうか。

(異議なし)

・ 役員の承認について

(事務局 城下)

39ページをご覧ください。天草東支部原田茂氏、中村健一郎氏より辞任届が提出されたため理事候補者2名について諮るもの。監事の岡部秀喜様より天草市役所退職に伴い辞任届が提出されたため。候補者については、天草市観光振興課の平山高広様、天草東支部につきましては、今回は候補者無ということになります。監事は天草市会計管理者の宮崎政勝様を予定しております。

(異議なし)

(4) 新規・退会会員について

(議長 馬場)

今回新規会員として、支部の方から推薦してあがってきております。まず入会につきましてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(議長 馬場)

退会につきましては8社の方々が退会されております。こちらはご報告となります。

(5) 新型コロナウイルスに関する事について

資料43ページをご覧ください。3月の理事会以降の状況でございます。会長と天草市長との意見

交換会であったり、要望等を出しております。その途中に理事の皆さんにもいろいろなご意見をいただいたかと思えます。今こういった状況で進んでおります。会長挨拶でありました通り6月1日から天草市から受託を受けまして天草市民向けに宿泊の半額キャンペーンが始まります。7月31日まで予定しております、最大6,000円補助、泊まった方に観光商品券1,000円を天草市民限定に行います。次にプレミアム付応援商品券発行事業が6月9日の議会で承認される予定です。総額2億円なんですが、10,000円の商品券に対して7,000円で購入できる、3,000円分のプレミアムがついた形で事業が実施されていくんですけれども、こちらも天草市民限定にしか販売できないんですけれども、当協会としても手を挙げて販売ができればと思っています。観光誘客キャンペーンとしましてこちらもまだ決まってないんですが、天草市で5,000万円程観光事業の経済対策として予定をされていると市長の所にお邪魔した際報告がありましたので共有させていただきます。昨日からニュースでも出ていましたが、GoToキャンペーン、熊本地震の時の復興割のようなものが7月下旬から始まると報道がされていますけれども、まだ詳細は来ていません。先ほどお伝えした天草市民限定の宿泊キャンペーンについて担当の大塚から簡単に説明させていただきます。

(事務局 大塚)

天草市の対象宿泊施設が53施設になりました。1,000円の天草市観光商品券なんですけれども、会員の法人会員に呼び掛けておりまして随時追加をしております。今日までのところ約100件の施設で使用できるようになっています。

(監事 田崎)

総会の書面決議は役員の方は出席なのかどうなんでしょうか。

(議長 馬場)

役員は基本出席。会員から集まった書面を審議をして決裁すると決まっております。

(監事 田崎)

監事も出席ですね。先々のことなんですが、WEB会議を開くと、定款では書面決議等と書いてありますけれども、私の会社では電磁的方法による議決権の行使、WEB会議が電磁的方法であるものですねそういうのを定款として入れるのもいいかと思えます。

(議長 馬場)

事務局の方でもどういう表記にするのかも含めて研究していただいて提案していただければと思います。

(会長)

(一社) 天草宝島観光協会

事務局で相談して定款変更という形でもっていけるようにしていければいいのかなと思います。
定款変更は理事会でいいのかな。

(事務局 赤木)

定款の変更は総会になります。

(会長)

来年だね。今日熊本県から6月から段階的に県をまたいだ移動を九州内でやるというのを県議会が何かで決定したと出ていたので天草島内だけにしかしてないですけど、島外、県内、段階的に解除したり発信したり変更することができるのか事務局、観光振興課と相談して決めてもらえないかなと。私たちが話したときには島内向けにされてましたけど、県自体が知事会で九州内では徐々に流れてるので、逐一情報を共有していただければありがたいなと。こっちもその時その時に応じて発信できるのではないかと思います。日々変わっていつてるので。

九州内の移動が可能になってきている。その時に

(事務局 赤木)

確認します。

(議長 馬場)

1700万円の事業のこと？

(会長)

島内の需要がなくて予算が余った時に拡充して県内にキャンペーンを途中で打つことができるのかフレキシブルに話をしていただければ、今変わってきているので6月1日から県をまたいで移動が知事会で出てたみいなので、蒲島知事の方針が変われば天草市も緩くなると思うので、できるかは分からないので話をしてみないといけないなと思ってるので。

(理事 平山)

今確認を取っている所なんですけど、上天草市などいろいろな動きがある中で、天草市としては、市民の方も感染に関して過敏になってる方が多いと、県内で新規感染者が出ていないということなんですけど、1,700万円は市内で完結させたいということです。5,000万円の誘客キャンペーン早急に準備をしていかないといけないんですけど、5,000万円を活用して考えていければと思います。まずは1,700万円を活用していただければ皆さんと情報共有させていただければと思います。万が一予算が余るようであればその分含めて活用したいと思います。現状が変わってきていますので、逐一市長に確認をとっていきながら私たちも情報共有していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

・プレミアム付き商品券事業について

(事務局 赤木)

資料46ページをご覧ください、先ほどの1,700万円とは別に天草市民向けに販売されるプレミアム付き応援商品券として、市として2億円の予算がついています。その中で各団体が手を挙げています。参加者数に応じて補助額が変わるという形で販売をされます。商工会議所、商工会、牛深商工会議所の4団体で情報共有と協議を行ったんですが、会員さんがかぶっていたり、販売のエリアが違うだろうという事で、各団体それぞれで販売をしましようとなっておりまして、1つ皆さんに相談なんですけど、GW前に観光商品券の販売を行ったんですけども、補助の中で会員さんの振込手数料を負担できるようになっているんですけど、事業予算で計算しても私たちが負担できる経費がなく、今回予算の関係と、今ある観光商品券と換金のルールを合わせるために、商品券を新たに発売する場合、会員さんの振込手数料は会員さんにご負担していただけないかなと考えております。販売方法についてなんですけど、6月9日に議会で承認されて、7月の中旬になるかと思うんですけど、販売方法としてWEBを活用し、対面販売はしない。前回のプレミアム商品券の販売と同じやり方でできればと思います。

(議長 馬場)

内容としては固まっているんでしょうか。

(事務局 赤木)

市の制度のことでしょうか。

(議長 馬場)

はい。

(事務局 赤木)

今最終調整をしております、日々どこが変更されてる状況ではあるんですけど、ほぼこれでいくと聞いています。

(議長 馬場)

わかりました。話によると市内に会社の本社がある所でないと使えないと聞いています。そういう認識でよかったですか。

(事務局 赤木)

法人の方は本店、個人の場合は所在地が天草にないと参加施設の対象から外れるということになってます。例えばイオンとかヤマダ電機とかあまりいらっしやらないんですけど、対象外になる予

定になっています。

(議長 馬場)

観光協会の会員企業さんで使える観光商品券になりますので、消費喚起には繋がるのかなと思います。観光協会としてしっかり取組んでいただきたいと思います。

(副会長 高廣)

納税業者はだめなのか。天草市に納税しているのであれば。熊本市に本店があって、税金は天草市に払っています。

(副会長 高廣)

法人会員は天草登記ということですが、営業所なんかも天草に納税していますよね。納税業者ではだめなんです、本店登記が必要なんです。天草市に納税している所は参加資格があつていいのかなと思います。

(事務局 赤木)

一旦市に確認したいんですが、どういったお店が考えられますか。

(副会長 高廣)

結乃里も本店登記ですよ。天草営業所で天草に納税してます。よくあることですよ。5年間熊本市内に納税してたんですが、去年天草市から5年分さかのぼって税金を払えと言われました。なので5年分まとめて払いました。今年からは天草市に納税するんですけども、解釈しだいで熊本市に本店があつたので熊本市役所に納税してたんですね。そういう所が天草市にもたくさんあるそうです。本店は登記だけで天草市にないところがあるんです。結局本店の住所変更をすれば莫大な費用がかかるんです。私もその中の1つです。熊本市に本店登記があるんだけど、営業所は天草、天草に納税というスタイルをとっています。天草市に限るとするのは強引だなと思います。

(議長 馬場)

観光協会として決めれることはありませんので、市に尋ねるといことになると思います。

(副会長 高廣)

観光協会ではなくて市に言ってるつもりです。

(議長 馬場)

プレミアム商品券を発行するときに大手の会社に7割、8割集中するということで、島内の商店に

(一社) 天草宝島観光協会

広く行き渡らないということで、今回このような条件をすると話を聞きました。正確な話ではありませんので、お答えすることはできませんけれどもその辺は議会で諮られて決まるのではないかなと思います。6月9日の議会で承認されるということです。下田議員さん何把握されてることはありませんか。

(理事 下田)

議会委員会が今日行われていまして、議案はまだおりてきてないので、はっきりなんとも言えないですけれども、プレミアム応援商品券は正式に確定していないと聞いています。案を見た中で今出たようなこともですが、購入限度額20万円は個人的には高すぎるのではないかなと思います。上限買われるとしたら1,600件程しか行き渡らないということで、前回のプレミアム商品券の時も車を買われたとか、いろいろな事例が出ていますので、もっと幅広くいろいろな方々に浸透するような、購入していただけるようなスタイルの方がいいのかなと考えておりますので、これに関してはまだ議論の余地があるかなと思います。

(議長 馬場)

ありがとうございました。ここでの議論も含めていろいろな意見もあると思いますが逐一行政に声が届くように、検討していただくということでこの場は終わらせていただきたいと思います。

(各理事)

異議なし。

・特別委員会について

(事務局 赤木)

48ページをご覧ください。4年前の熊本地震の時に、様々な対応であったり情報共有を行いました。その時は天草市から特別に受託等がありましたので内容を決める熊本地震特別対策委員会を設置しました。その中に正副並びに理事、観光に関係する団体の皆様に参加してもらい、いろいろな事を決める委員会を設立したんですけれども、コロナが収束していないので、いろいろな事が想定されるので新型コロナウイルス特別委員会を新たに作ってはどうかという案がでております。今の所、副会長、議事進行理事の中で希望される方、宿泊、飲食、物産、イルカ、交通の希望をされる方の中から委員会を設置しその中で今後の様々な情報共有であったり、対策を協議する場を作るのはどうかと思いますので説明させていただきます。

(議長 馬場)

正副会長会で案が出ました。熊本地震の時には熊本地震対策特別委員会が設置をされました。今回実際に新型コロナウイルスのがまだできていないということで今後もこのような問題が起こらないとも限りませんので、特別対策委員会を置けるような仕組みを取っておいたほうがいいのではないかなという意見が出ました。新型コロナウイルス対策特別委員会の設置をすることの提案

をさせていただきます。メンバーをどうするのかということはこの理事会で決めたいと思います。地震対策特別委員会は事業委員会を中心に作りました。事業委員長であった私が委員長をさせていただいたんですけれども、1つの案としては、事業委員会の委員長である田口副会長が対策特別委員会の委員長になっていただき、それ以外のメンバーをどうするのかということ協議していただければと思います。皆様からご意見ありますか。

(理事 濱崎)

今回の対策委員会は観光で被害を被っている事業所、宿泊でかなり影響を受けていますので現場の中がわかる人でないと意味はないと思います。会長、副会長、委員長でもいいんですけど、ちゃんと分かって対策ができる人がいいと思いますよ。前もって誰がいいではなくて手を上げる人がいれば。

(議長 馬場)

被害が一番大きい所が対策委員会に入っていた方がいいだろうということですね。

(理事 下田)

今濱崎さんが言われた理事の中でも希望者ということでしたが、全理事に諮っていただいて幅広く募っていただければと思います。市側との流れもあると思いますので、平山課長にも入っていただければいいんじゃないかと思います。

(副会長 田口)

今濱崎さんからあったように、被害の大きいところの修復をすれば波及効果が大きいということも含めて委員の皆様方、行政の方々一体となってどうしたら一番困ってる事業所、環境を変えていけることを議論できるような場になればいいかなと思います。事業規模の中心となる所から波及するのがベターだと思います。委員の皆様方についてはしっかり検討して集めた方がいいのではないかと思います。

(議長 馬場)

宿泊、飲食の方だけではなく、地震対策特別委員会の時には様々な方に入っていただきました今回キャンペーンが予算かされてやっていくんですけども、キャンペーンがごちゃごちゃになってやっていくので、整理をしていかないと思いますので、例えばキャンペーンの実行委員長さんに入っていただく必要があると思います。理事の中からやっていただける方がいらっしゃればご意見等々いただければと思います。方向性をここで決めればと思いますが会長いかがですか。

(会長)

観光協会と言えば、正副会長会、理事会があるので、コロナ対策の特別となれば、委員長などを

決めるのがいいと思います。会長の肩書で私が入らない方がいいのではないかなと。組織のメンバーまで決めるのは難しいのでリーダーを決めて、その他のメンバーについて会員だけではなくて、他の団体と会議などしてメンバーを選定したらいいんじゃないかなと。他の団体と協力できるようになればと思います。

(議長 馬場)

ここで決定は難しいので、まず委員長をここで決めたほうがいいでしょうか。事業委員長を中心に特別対策委員会を設置するという方法がありますがいかがでしょうか。

(理事 濱崎)

観光協会の主導でやってる。コロナ対策なので理事の中で、いろんな職業があると思いますから観光協会の中で揉んで、コロナ対策委員会の中に入って解決していきたいと思ってる方とかに入っていていただいて、異業種の会ではないので、観光協会の中で話し合っていくべきだ。あくまでも観光協会なので。

(議長 馬場)

オブザーバーとして他の団体の方を置くのはいいと思います。今の段階では何も決まらないと思いますので、会長、事業委員長田口副会長、事務局で案を出していただくということでどうでしょうか。

(会長)

実行委員長だけをここで決めてはどうか。

(議長 馬場)

実行委員長決めてその後に人選することでもいいでしょうか。

(理事 濱崎)

望洋閣の藤本あたりがいいんじゃないですか。一番被害も大きいし、宿泊がリードしなければ他の所は分からないんですよ。費用対効果も、こういう時にはこうなるとか、高廣さん分かりますか。

(副会長 理事)

宿泊業の片棒を持つ訳ではないですが、天草を代表するメインが下田温泉が軒並みにやられているので、下田温泉の中から選ぶと。私は夢ほたるさんにやってほしい。田口副会長も適任ですけども、肩書から選ぶのではなく、重要なポイントから選んだほうがいいのではないかと。下田温泉から選んで、横に広げていってはどうかなと思います。

(議長 馬場)

正直、藤本理事は1度も理事会に出席されておりません。

(副会長 高廣)

少しぐらい口やかましい、少しぐらい強引さもあるような浜崎理事が適任かなと、私が知ってる中で浜崎さん以上にフットワークの軽い方はいないし、いろんなことに知恵を馳せられて、いろいろな事を思っっしゃいますので、今藤本理事の名前が出ましたけれども、それは同感です。下田温泉から1人選んで、失礼な言い方ですけど、肩書から選んでもどうにもなりませんのでフットワークも軽く、尚且つ甚大な被害を受けた下田温泉から選んではどうかなと思います。

(理事 濱崎)

できたら私が、藤本を説得したいと思いますけどどうでしょうか。

(副会長 高廣)

浜崎社長のほうが適任かと思います。

(理事 濱崎)

下田の中で話をしてみたいと思いますが、県内の宿泊情報も彼には入ってますので、私もできたら宿泊がリードをして、現場の分かる人、費用対効果の分かる人、結果を出さなければいけないと思うんですね。観光協会の在り方が試されてきてるときだと思います。

(議長 馬場)

高廣副会長より浜崎理事の推薦がありましたけれども、浜崎理事からは藤本さんをとということですが他に推薦したい方いらっしゃいますか。

(副会長 平下)

サンタカミングホテルの横島社長などは、若い世代からしても頼りになるので、横島社長がなるのではいいのかなと思います。同じホテル業で、いろいろ考えることもあると思うので、横島社長が適任ではないかと思います。

(議長 馬場)

特別対策委員会は定款に規則とかはなかったのかな

(事務局 赤木)

規則があったので確認します。

確認中 . . .

(理事 米田)

個人的には、宿泊業だと思います。意見を出し合えるような場を作るのが大事で、まとめるということが大事だと思うし、一丸となってやっていきましょうというのが大事だと思います。

(理事 上)

コロナ対策委員会を立ち上げるにあたって、宿泊が打撃を受けているので委員長になる方には、中立な立場で、地域の方の意見を全部くみ取って偏りがないように観光業でない方を委員長に立てて、宿泊業、飲食業の方々に委員に入っていて意見をくみ取っていただける方を委員長にしていれば委員会がまとまっていいんじゃないかなと思います。

(事務局 赤木)

専門委員会設置要綱なんですけれども、役割などが書いてあるんですが、新しく作ることに決まりはないです。

(会長)

実行委員用を決めるのが難しいのであれば、委員会開催日を決定してその中で決めるというのはどうでしょうか。

(各理事)

異議なし

(議長 馬場)

藤本理事にもぜひ参加していただく、浜崎さん、横島さんにもぜひ参加をしていただくという意見がありましたので、相談して委員会に参加していただくと、事業委員長として田口副会長取りまとめていただいて、開催を進めていただくという、上理事の意見の中立な立場の方という4名の中から選考を会長も含めてメンバーを選定していただくということによろしいですか。先ほど平山課長にも入っていただければと思います。

(副会長 高廣)

委員の話ではないんですが、天草市に納税している業者と先ほど言ったんですが、イオンなどに消費が流れてしまうということで、天草の販売者を対象にされるということであれば、そのような思いやり、心配りがあれば異論はありません。今回参加しないということに異論はありません。全然問題ありません。

(議長 馬場)

第1回を早々に集めていただくということよろしいでしょうか。

(副会長 田口)

はい。

・各事業の参加費について

(事務局 大塚)

事業委員会の中で各職のキャンペーンの実績の中で負担金について協議をしたところですが、新型コロナウイルスの影響もありますので、本来であれば自主財源を増やすとして負担金額を上げていくところを平年並みにしてはどうかという協議がありました。伊勢えび祭り実行委員会の書面決議で負担金を半額にして、参加募集をしたいということで出されています。天草井井フェアが9月からスタートするんですが、負担金は平年並みで参加募集を募っているところですが、負担金の額について協議いただければと思います。

(議長 馬場)

食のキャンペーンの参加費についてなんですが、事業委員長、事業委員会で決まっていたことがあって進めていたと思うんですが、参加費については、例年通りで決まったと聞いたんですが、

(副会長 田口)

新型コロナウイルスの状況が甚大な被害が出る状況でない時に会議をしまして、委員の皆様から現状のままということでした。

(議長 馬場)

伊勢えび祭りの実行委員会は負担金を半額にすると事務局に報告があったということですが、井井フェアはそのままの額でいくということですね。山本会長お願いします。

(会長)

井井フェアは予算建てをして、業者に発注している段階なので参加店舗の負担金を含めた額で予算化しています。例年通りの参加費を予め組んだうえで予算執行をしていますので、半額にすると今失効している分の予算組み直しが必要になります。組み直せばいいんですが、この事業は半分、この事業はもらって、この事業はもらわないというのは整合性が取れないと思うので、半分にするなら半分にすると決めてもらって構わないです。これからは会長の意見です。減らした予算が減ります。予算が減った分どこからかお金を持ってきて補填するというのは今の段階では不可能です。伊勢えび祭りが例えば350万円で会費の収入が25万円になった場合事業委員会の中で

予算をやり繰りしないといけないと思います。どこからか持ってきてくれと言われても会全体の予算から組直しをしないといけませんのでほぼ不可能になります。井井フェアもそこだけ決まりましたと言っていたければ、予算の組み直しをします。広告費を減らすとか、食事券のパーセンテージを変えるなど予算の中でやれるよう組直そうとおもいますので、各事業がそう思っていないと、難しいと思います。

(議長 馬場)

実際動き出している事業もあります。負担金と補助金の合算が事業費になるんですね。負担金が半分になって、事業費がそのままということになると補助金を増やさなくてはいけないという事になるので、これは不可能ということになります。予算を削られている状況ですので、皆さん意識として統一でご理解していただいでよろしいでしょうか。

(各理事)

異議なし

(議長 馬場)

各キャンペーンの負担金はそれぞれ、事業ごとに決まってないと思うんですね。観光協会として決めてないんですね。

(事務局 大塚)

各キャンペーンで決まってるので、統一はしていません。

(議長 馬場)

であれば、すべてのキャンペーンを半額にする必要もないのかなと、実行委員会の中で決めて、総事業費を減らしてもらおうと考えでいいかなと思います。

(副会長 田口)

事業員会でも馬場理事が言われたように、自主性を持ちながら収支を合わせてもらおうと。全体の予算の範囲は超えないと話をしています。唐突なことがあれば事業委員会を招集しようと思っています。

(理事 上)

井井フェアなんです、負担金1万円で30件くらいとおっしゃったんですが、今コロナの状況で9月収束して観光客の方いらして下さいという状況になってるかもしれないですけど、デリバリー、テイクアウトとか積極的にされてるお店が増えてきたんですが、そういう参加店舗を増やしていただければ、参加費を半分にして参加店舗を増やすなどはないんですか。天草の中で盛り上

って、楽しそうだな、行ってみたいなど外の方に思ってもらえるように、商品券の発行もありますけど、このフェアを機に外食の機会を作っていただくフェアにしてもらって、来年はこれからの井井フェアをまた考えていくとか、時間はないですけど、そういう方向性でいけないのかなと思います。

(会長)

個別の事業に関しては、実行委員会スタイルなので実行委員会の中で話が出てそれで動けば問題はないと思います。理事会の中でやってくれということではなくてすべての事業は実行委員会の中で内容も決められています。ただ観光協会なので観光客を相手にする事業というのが建前として今まではある。でも今回はそれができないので島内向けにしようという事業も観光協会です。井井フェアも今まで島外だったのを島内向けにしようというのも実行委員会内で出れば問題はないです。そこで話をすればですね。6月4日に実行委員会が行われるのでその時に意見を出していただいて、参加店舗が実行委員になってるので、参加店舗の出席が少なくても意見ももらえないので、私と事務局で例年に沿った形で概要書を出してるんですが、それに対しての意見も1つも出てきません。ぜひ実行委員会のなかでその意見を出していただきたいので、参加店舗からその意見を持った状態で来ていただきたい。実行委員会に来てない店舗から私や事務局に直接いろいろな意見が来るんですけども、私が勝手に決めてると思われてるんですが、実行委員会内で決めてることを覆すことはできません。あくまでもルールがあるので、理解していただかないと、実行委員の委員である参加メンバーが当事者であるという自覚がなくていらっしゃるのが問題なのかなと。6月4日の実行委員会にこの意見も持ってきていただければ。まだ発注をして見積書を出している段階なので、細部に関しては変更可能です。できないときにはテイクアウトなど案を持っています。言われたことがないので例年のを出しています。実行委員会で意見を出していただければ、最終決定を7月の実行委員会にしているの、6月に意見を出していただいて、合否を7月に決定して印刷などするかどうか、予算を使うことをするかどうかを7月に決めたいとスケジューリングしてますので、ぜひともその意見は実行委員会の中で言っていただければ揉むことができるのかなと思います。

(議長 馬場)

事業費の参加費については、半分にしますという意見の方、実行委員会に任せて決めていただくという方挙手をお願いします。

(各理事)

異議なし。

・その他

(事務局 赤木)

(一社) 天草宝島観光協会

先ほど観光功労者表彰上がってないと申し上げたんですが牛深支部からスナックら・セーヌ井上クニコさん1名の方の推薦状が来ておりまして、今回書面決議で通常だと総会で皆さんの前で表彰という形なんです、高廣副会長どうでしょうか。

(副会長 高廣)

牛深支部の副支部長です。私より長く、たくさん助けられていますし、リードしてもらってますので感謝しています。推薦したのは覚えてるんだけど、なんで推薦今までしてないのかなとは思っていたんですが、推薦状は出してあったんでしょ。支部としては文句ありません。表彰する場面がないのでどのように演出するのか、考えてもらえればと思います。

(会長)

今までだと、名前と実績だけを総会資料に書いて檀上に上がって表彰するという形だったと思うんだけど、写真付きで総会資料に置いて、どういう実績があるとか、今回の功労者表彰はこの方ですと書いたりとか、WEBであげるとかすれば皆さんに周知できるのではないかと。本人さんに確認して、総会資料に顔写真付でしてみたらどうかと思います。表彰状と記念品は後日お渡しするとして、総会資料で皆さんに紹介できたらいいんじゃないかなと思います。

(議長 馬場理事)

観光功労者表彰について会長の今の意見について、いかがでしょうか。

(各理事)

異議なし。

(6) その他

(議長 馬場)

宿に厳しい状況の中で、雇用調整助成金を獲得してもらいながらWEB研修教育訓練を実施しています。目的としては、観光の底上げをしたい、同時に教育訓練をやっていくことで1日最大2,400円雇用調整助成金に追加されて獲得することができるということで、今現在お宿の皆さん1日80名ぐらいWEB講義を聞いて勉強していただいています。5月20日からスタートしていて無料です。まちづくり会社設立準備委員会とケーブル、観光協会にも協力してもらいながら進めているんですが、目的は、底上げと町並み整備をしていくと。メディアに取上げていただいて、天草を応援、支援をもらう。そういう流れにもっていきたいなと思って準備をしています。コロナの収束が早まって、いいことなんですけれども。最終的にどうやって応援していただくかという、おまとめサイトで天草1ヶ所ここに来ていただければ天草をまるごと応援できますよというサイトが今月末に完成します。観光協会のトップに乗せて宣伝してやっていきたいです。観光協会のホームページに載せさせていただくことを認めていただきたい

(各理事)

異議なし。

(議長 馬場)

今準備を進めていますけれども、16件ぐらい集まってきていますが、PCサイトを持っているところが案外少なくてこれからどんどん集めていってたくさんの支援をしてもらえるような環境づくりをしていきたいと思います。幅広く応援してもらえると思いますので今私も準備を頑張っているところです。ご理解いただいたということで進めさせていただきたいと思います。事務局の赤木局長を中心として準備は進めていっておりますので、了解いただきましたのでよろしくをお願いします。今日は熊日からの取材などどんどん取材の依頼も来ています。これからメディアにどんどん出していきたいと思っています。天草の歴史、福祉、いろいろ勉強するサイトがあります。おもてなしのやり方などですね。非常に雇えば何十万もするような研修になっているんですが、いろいろな人に協力いただいて実現できている研修になっています。このような形で観光産業をしっかり支えていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

4、閉会

(副会長 田口)

長時間おつかれさまでした。第1回理事会がたくさんのご意見いただきましたので、執行部でもしっかり検討し、新しい試みをどんどん観光協会の在り方、実行の仕方を正しく作っていく、天草バージョンをこれから作っていこうと思います。今日はありがとうございました。おつかれさまでした。